

保護者様

横浜市立青木小学校
校長 後明 好美

全国学力・学習状況調査の結果と考察

令和7年4月17日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の調査結果と考察をお知らせします。

学習の結果「平均正答率（％）」

	国語	算数	理科
青木小	76	72	64
神奈川県との差	+10	+13	+7
神奈川県	66	59	57
全国	66.8	58.0	57.1

国語 正答率	青木小	県	全国
言葉の特徴や使い方に関する事項	83.0	73.3	76.9
情報の扱い方に関する事項	68.8	63.7	63.1
我が国の言語文化に関する事項	91.1	81.3	81.2
話すこと・聞くこと	73.5	66.5	66.3
書くこと	81.5	69.9	69.5
読むこと	69.0	57.5	57.5

算数 正答率	青木小	県	全国
数と数量	77.5	63.5	62.3
図形	69.2	55.8	56.2
測定	67.4	55.1	54.8
変化と関係	73.5	59.9	57.5
データの活用	74.3	63.2	62.6

理科 正答率	青木小	県	全国
エネルギーを柱とする領域	56.0	46.6	46.7
粒子を柱とする領域	58.9	51.7	51.4
生命を柱とする領域	56.7	51.2	52.0
地球を柱とする領域	73.7	66.6	66.7



結果に特徴のある問題

国語 ・全国より大きく上回った問題

- 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりし文章の構成を考えることができる。
- 話し手の考えを比較しながら自分の考えをまとめることができる。
- 文の中における主語と述語の関係を捉えることができる。
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方をくふうすることができる。

・正答率が低かった問題

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討することができる。

算数 ・全国より大きく上回った問題

- 「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる。
- 示された資料から必要な情報な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができる。
- 伴って変わる2つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できる。

・正答率が低かった問題

- 基本図形に分割することのできる図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述できる。
- 数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分としてとらえることができる。

理科 ・全国より大きく上回った問題

- 発芽するために必要な条件について実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができる。
- 粒の大きさによるしみ込み方の違いについて「結果」や「問題に対するまとめ」を基に他の条件での結果を予想して表現することができる。
- 乾電池のつなぎ方について直列つなぎについての知識が身についている。
- 電流がつくる磁力について電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身についている。

・正答率が低かった問題

- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身についている。
- レタスの種子の発芽条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができる。

◎学習意識の結果

※数値は「はい」「どちらかといえばはい」の合計（単位は％）

	学習調査	青木小	県	全国
①	算数の勉強は好きですか	67.6	60.3	60.3
②	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.6	91.8	91.6
③	国語の勉強は好きですか	75.9	58.5	58.3
④	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.5	87.7	90.4
⑤	理科の勉強は好きですか	89	79.5	80.1
⑥	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	91	79.5	79.9
⑦	総合的な学習の時間では、自分の課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	88.9	82.5	82.3
⑧	PC・タブレットを活用することについて次のことはどのくらい当てはまりますか。自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	86.1	79	77.6
⑨	PC・タブレットを活用することについて次のことはどのくらい当てはまりますか。友達と考えを共有したり、比べたりしやすくなる	93.6	86.4	84.6
⑩	自分の考えを発表する機会では、自分の考えが伝わるよう、資料や文章、話の組み立て方などを工夫して発表していましたか※はいと回答	45.4	29	26

◎学習意識の考察

「算数の勉強は好きだ」「国語の勉強は好きだ」「理科の勉強は好きだ」と回答した児童は、県や全国平均を上回っている。それに伴って国語、算数、理科の学力もほとんどの分野で全国平均を上回っている。また、「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」という設問に対しても、肯定的に答えている児童が県や全国平均を上回っており、将来に必要であることを意識していることが分かる。今後も、授業の中で日常生活から問題を見つけ、解決できるようにすることで、社会とのつながりや将来を意識できるようにしていきたい。

「総合的な学習の時間では、自分の課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表する活動をしているか」という設問では9割近くの児童が肯定的な回答をしており、県や全国よりも上回っている。「PC、タブレットを活用することで、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる」という設問や「PC,タブレットを使うことで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」という設問でも9割近くの児童が当てはまると答えている。これは、様々な科目でロイロノートなどのアプリや思考ツールを活用しながら図や表、挿絵などを入れて自分の考えをまとめたり、それをういて考えを伝え合ったりする機会が増えているからだと考えられる。また、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えが伝わるように工夫して発表するか」という設問では、全国の2倍近くの児童がよく発表をすると回答しており、どの教科でも友達と対話をしながら学ぶことの良さを感じていることがうかがえる。本校は、総合的な学習をはじめとして対話的な学びを意識した授業を行っている。今後も子どもたちが主体となり、主体的・対話的で深い学びとなる学習を行っていきたい。

◎生活意識の結果

※数値は「はい」「どちらかといえばはい」の合計（単位は％）

生活調査		青木小	県	全国
①	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用している時間も含む）※2時間以上と回答	64.8	32.2	24.9
②	土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用している時間も含む）※2時間以上と回答	58.3	25.5	21.5
③	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを普段の生活に役立てていますか。	86.2	79	80
④	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	87.1	82.6	81.3
⑤	人の役に立ちたいと思いますか	93.6	96.3	96.4

◎生活意識の考察

学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間勉強をしている（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用している時間も含む）という設問項目に2時間以上と回答した児童は、県・全国平均30ポイント以上、上回っている。このことから、多くの観点で県・全国平均を上回った結果につながっていると考えられる。

健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを普段の生活に生かしているかという設問項目で、生活に生かしていると回答した児童が、県・全国平均を7ポイント程度上回っている。学校保健委員会などを通して昨年度までの2年間「歯と口の健康アップ」に取り組んでおり、給食後の歯磨きを行っている。歯みがき検査では、ブラッシング技術が向上し、検査でAを取る児童が増えた。今年度は、姿勢についても取り組んでいる。今後も継続して健康に対する意識を高めていけるよう、取り組んでいきたい。

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」では、県・全国をやや上回っている。青木小学校では、以前から青木のまちの風総会や青木の時間等で、地域の方々と関わることを重視している。地域の方々のご協力もあり、様々な教科等でたくさんかかわっていただいたことで、子どもたちの意識も高まっていると考えられる。一方で、「人の役に立ちたいと思いますか。」では、全国や神奈川県よりもやや低い。今後も地域とのつながりかかわっていく中で、社会の一員として地域や社会のために何かしてみたい、人の役に立ちたいと自己有用感が高まるように声かけをしていきたい。